

職員の皆さんへ

いよいよ年の瀬も迫り 12 月を迎えました。明日から始まる定例市議会の審議や来年度予算編成に加え、同時期に行なわれる衆議院総選挙の対応など大変慌しく多忙を極めることとなりますが、お互いに健康に注意して頑張ってください。

振り返ればあっという間の一年でしたが、それぞれの分野で大きな実績を収めたという手応えを感じています。特に世界的に活躍される指揮者西本智実さんをお迎えして実現した交響楽団と合唱団による世界遺産登録推進を目指すオラショ復元コンサートの開催、そしてそれに呼応したかのように実現した国内における登録候補地推薦決定、さらには第 69 回長崎がんばらんば国体の相撲協議と軟式野球競技の開催ならびに相撲成年の部の二連覇と総合優勝の快挙、そして全国風サミットの開催を通して再生可能エネルギーの普及拡大に向けた政策提言など、いずれも本市を舞台に「平戸ならではの強み」を活かした成果として、国や世界を巻き込んだ意義あるプロジェクトの達成を意味するものと評価できるのではないのでしょうか。

これも偏に職員各位のチームワークと市民を巻き込んだ協働連携の発露であり、準備段階から粘り強く誠心誠意取り組んできた努力の賜物と言えます。

その一方で、豊かな農林水産物を活用した積極果敢な物産戦略によって、主に関東消費地圏に及ぶ市場開拓と商品開発の展開は、そのままふるさと納税システムにも反映され、これに敏感に反応した全国の平戸ファンから多くの寄附が寄せられるという画期的偉業を達成することができました。

当然のことながら、この予想をはるかに超える多額の寄附額は自主財源に乏しい本市にとって大きな原動力と安定した財政運営に寄与しますし、同時に特典品として送り届けられる本市特産品はそのまま平戸の魅力も添えて全国に広がることとなりました。このことがひいては平戸ファンを増やすというもう一つの目的を期待以上に達成したことになりますので、必然的に平戸の名前はあらゆるメディアにも取り上げられることで総合ブランド戦略が行き届いている手応えを実感しているところです。

こうした積み重ねを確かな実績として、来年の合併 10 周年を迎え更なる飛躍発展に向けてさらに努力を重ねてまいりたいと思います。

今後も解決すべき行政課題は山積しています。しかし自信とやる気をもってこれらに真摯に向き合い、粘り強く努力を重ねることで必ずや目的を完遂することができます。

そして大変残念なことでしたが、平戸市は 2012 年 8 月に公開され、今では主演俳優の高倉 健さんにとって遺作となった映画『あなたへ』の舞台となりました。そして去る 11 月 28 日には、市内の関係者や高倉ファンのほか、遠くは北海道や福岡県からも多数の方々のご参列を頂いて、「お別れの会」が、ロケ地となった薄香港でしめやかに執り行われました。

会場には実際に使っておられた物や撮影の合間に地元のファンにさりげなく贈られた優しさ溢れる遺品の数々が並べられ、不世出の名優 健さんの遺徳を偲ぶに相応しい有意義な集まりとなりました。

高倉さんは、生前の座右の銘として次のことばを遺されました。

それは「往く道は精進にして忍びて終わり悔いなし」というものです。

この意味は「精進する、頑張る、そして耐える、それだけしかない、だからこそ後悔することはない」ということです。ただひたすら与えられた任務に向き合い、寄せられる期待に応えるために必死に精進することが人間としての成長と信頼を身につけることができる修業であると諭していただいた言葉ではないでしょうか。

これをご縁に健さんの座右の銘をそれぞれが心に刻みながら頑張りましょう。

さて、ここで年末を迎えるにあたり、改めて皆さんに強く申し上げておかなければならないことがあります。

それは飲酒による自動車運転の根絶と防火意識のことです。

毎年この時期にあえて私が申し上げる必要のないほどに、皆さんの心の中では「百も承知」のことかと思えます。でも、ちょっとした油断や、ほんの少しの気の緩みを取り返しのつかない事態を招くことになりかねません。

決して他人事ではなく自らがあってはならないこれらの事態を防止する最前線の責任者であるという強固な意識をもって自分のために家族のために、そして平戸市のために、より一層の新たな自覚のもとに行動して頂くようお願いします。

寒さが一段と厳しくなりますが、くれぐれも健康管理に留意して、年末年始に向けて万全なコンディションで職務の遂行にあたられますよう職員皆様のご努力に期待します。

平成 26 年 12 月 1 日

平戸市長 黒田 成彦